

9月の中小企業月次景況調査

〔令和2年9月末現在〕



全国中小企業団体中央会
National Federation of Small Business Associations

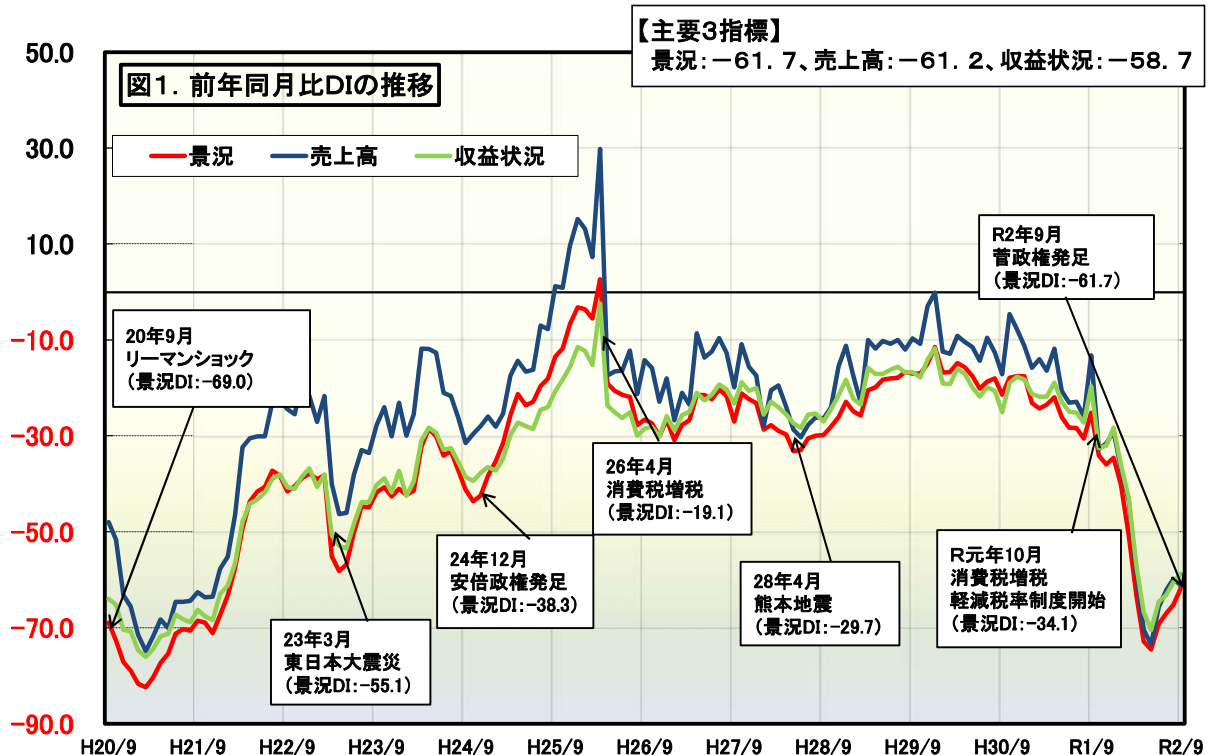
令和2年10月26日発表

◎9月のDIは全9指標中、7指標が前月より改善。

○新型コロナウイルスの影響により、DIは引き続き低調であるが、経済活動の再開により、6月以降、上向き傾向が継続している。GoToキャンペーン等の景気刺激策に期待の声も大きく、10月以降の更なる改善に期待したい。

○ただし、DI水準は引き続き大きく落ち込んでおり、また業種によっても、DI水準の差が開きつつある。

○業種を問わず、新型コロナウイルスの影響が長引くにつれ、人員削減や給料カットを検討する企業も見受けられ、先行きを不安視している声も増えている。



※DIとは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、好転 (増加・上昇) したとする割合から、悪化 (減少・低下) したとする割合を差し引いた値です。

本調査は、都道府県中央会に設置されている情報連絡員〔中小企業の組合 (協同組合、商工組合等) の役職員約2,600名に委嘱〕による調査結果です。
調査の対象は、情報連絡員が所属する組合の組合員の全体的な景況 (前年同月比) です。

(本発表資料のお問い合わせ先)

全国中小企業団体中央会

担当：政策推進部

TEL 03-3523-4902

<https://www.chuokai.or.jp>

9月の調査結果のD I 概況

【指標D Iの動向とポイント】

- 9月のD Iは、全9指標中、7指標が前月より改善。主要3指標は、景況3.5ポイント改善、売上高1.4ポイント悪化、収益状況1.8ポイント改善となった。
- 各D Iは、概ね3月の新型コロナウイルス発生直後の水準まで戻している。
主要3指標以外では資金繰りD Iや設備操業度D Iが上向いている。
業種別では繊維工業や印刷のD I水準が低調に推移している。
- 新型コロナウイルスの拡がりは収束が見えないため、先行きへの対応の不安や見通しがつかないというコメントが多く寄せられている。

全指標の前年同月比D Iの推移（直近1年間）

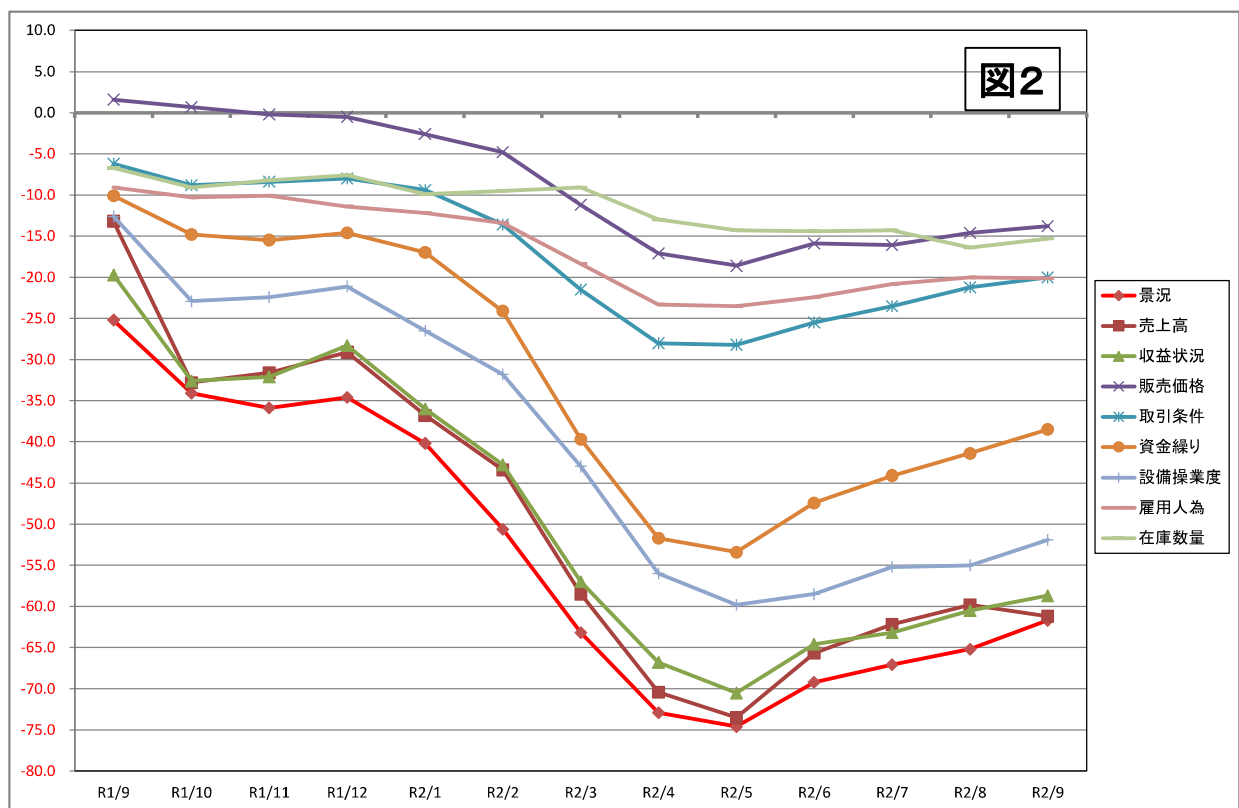


表1	R1				R2									
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	前月比
景況	-25.2	-34.1	-35.9	-34.6	-40.2	-50.6	-63.2	-72.9	-74.6	-69.2	-67.1	-65.2	-61.7	3.5
売上高	-13.2	-32.8	-31.6	-29.1	-36.8	-43.4	-58.5	-70.4	-73.5	-65.7	-62.2	-59.8	-61.2	-1.4
収益状況	-19.7	-32.6	-32.1	-28.3	-36.0	-42.8	-57.0	-66.8	-70.5	-64.6	-63.2	-60.5	-58.7	1.8
販売価格	1.6	0.7	-0.2	-28.3	-2.6	-4.8	-11.2	-17.1	-18.6	-15.9	-16.1	-14.6	-13.8	0.8
取引条件	-6.2	-8.8	-8.4	-8.0	-9.4	-13.6	-21.5	-28.0	-28.2	-25.5	-23.5	-21.2	-20.0	1.2
資金繰り	-10.1	-14.8	-15.5	-14.6	-17.0	-24.1	-39.7	-51.7	-53.4	-47.4	-44.1	-41.4	-38.5	2.9
設備操業度	-12.6	-22.9	-22.4	-21.1	-26.5	-31.8	-43.0	-56.0	-59.8	-58.5	-55.2	-55.0	-51.9	3.1
雇用人員	-9.1	-10.3	-10.1	-11.4	-12.2	-13.4	-18.4	-23.3	-23.5	-22.4	-20.8	-20.0	-20.1	-0.1
在庫数量	-6.7	-9.1	-8.2	-7.6	-9.9	-9.5	-9.1	-13.0	-14.3	-14.4	-14.3	-16.4	-15.3	1.1

【情報連絡員報告から総括する景況調査のPOINT】

1. 全9指標中、7指標が前月より改善。
2. 経済活動が再開され、一部では下げ止まりや、GoToキャンペーン等の景気刺激策により、先行きに期待がもてるとの報告も増えた。一方で、先行きの見通しを不安視するコメントも引き続き多い。状況が改善せず、影響の長期化も想定されることから、雇用人員の見直しや削減、給料カットについて言及する報告も増えてきている。
3. 休業の継続や外出自粛等で営業活動や展示会が中止、もしくは予定通りの開催ができないケースも多く、先行きの受注を確保できていないという報告も多い。

《主な報告内容》

◇新型コロナウイルス環境下における、業況下げ止まりの動き

- ・9月に入り、東京市場（スーパー等の流通販売ルート）はだいぶ通常に戻ってきた。土産店や業務店ルートはまだまだ厳しいが、回復基調にある。（宮城県／製麺業）
- ・工業系は自動車を中心に回復傾向にある。特筆すべきはテイクアウト向けの伸びが大きい。（愛知県／段ボール製造）
- ・GoToトラベルにより京都への観光客が増加したことで、お土産（特にお菓子）の準備が一斉にはじまり、当業界にも受注が入り始めたようだ。（京都府／紙製容器製造業）
- ・組合員によっては主要取引先から海外市場向け製品に受注回復の見込みや、自動車部品メーカーからの受注微増との声も聞かれるようになった。（神奈川県／鉄鋼・金属製造業）
- ・設備操業度も回復傾向が見受けられ、生産活動は下げ止まりつつあり、今後のゆるやかな回復が期待される。（徳島県／鉄鋼業）
- ・取引メーカーによってバラツキはあるものの、地場メーカー関連においては前年並みの売上に戻りつつある。ただ、二次請、三次請の企業はそこまで回復していないところが散見される。（群馬県／自動車付属品製造業）
- ・前年同月比よりも売上は減少しているが、GoToトラベルの影響で観光地のホテル・旅館や飲食店が多少持ち直してきている。（山形県／食肉小売業）
- ・GoToトラベルや町独自の宿泊助成金の拡充により集客面で相乗効果が見られた。修学旅行の振り替え受け入れなども奏功し、8月に比べ9月は前年対比回復傾向にある。（北海道／商店街）

◇新型コロナウイルスを乗り越えるための支援策等の追加・拡充の声

- ・持続化給付金のもう一段の延長・拡充をお願いしたい。（福岡県／鉄素形材製造業）
- ・アフターコロナを見据えて、業態変更や販路開拓といった声も聞かれるが、1社では対応しきれない。（東京都／靴製造業）
- ・中小企業支援も実施されているが、その内容はまだ不十分である。例えば、対象先は個人、法人の括りではなく、業種、売上規模を基準として金額規模に段階をつくるなどの支援スキームの構築を期待したい。（山口県／印刷業）
- ・先が見えない中、雇用調整助成金の特例措置の再延長を望む声もある。（岐阜県／陶磁器）
- ・GoToトラベルにより、各宿泊施設の利用実績に反映している。一方でビジネスホテル系、宿泊単価が低い施設への波及効果はまだまだといったところである。（宮城県／ホテル旅館）
- ・コロナ禍のなか事業活動を進める必要があり、市場開拓、商談等において面談の制限が課せられる場合があり、ITを利用した新しいビジネススタイルに対応すべきスキルを早急に構築しなければならない。（京都府／電気機械器具製造業）
- ・収益状況が好転し、支援策として「前年比50%減少」の受給要件が厳しく、「持続化給付金」が使えないとの声が多い。（神奈川県／歯科技工）

※後述の「Pick up!」ならびに「情報連絡員からの報告（要旨）」等も参照。

1. 景 況

	前月	当月	増減	傾向
全体	▲ 60.5	▲ 58.7	1.8	上昇 ↗
製造業	▲ 66.2	▲ 63.8	2.4	上昇 ↗
非製造業	▲ 56.0	▲ 54.8	1.2	上昇 ↗
DIが大きく上昇した業種	10ポイント超	電気機器		
	5～10ポイント	木材・木製品、鉄鋼・金属、輸送機器、運輸業、その他の非製造業		
DIが大きく悪化した業種	10ポイント超	なし		
	5～10ポイント	化学・ゴム		

表2. 業種別【景 況】D I の推移（前年同月比）

業 種 名	1/9	1/10	1/11	1/12	2/1	2/2	2/3	2/4	2/5	2/6	2/7	2/8	2/9	前月比
全 体	-25.2	-34.1	-35.9	-34.6	-40.2	-50.6	-63.2	-72.9	-74.6	-69.2	-67.1	-65.2	-61.7	3.5
製 造 業	-31.2	-35.2	-40.2	-39.8	-43.4	-52.4	-65.3	-74.6	-78.0	-74.7	-73.0	-71.8	-66.5	5.3
食料品	-35.8	-33.5	-35.5	-29.0	-37.8	-52.2	-70.1	-76.1	-78.9	-69.0	-69.8	-64.7	-60.2	4.5
繊維工業	-43.6	-47.2	-56.1	-55.9	-58.7	-67.0	-75.8	-86.6	-90.0	-90.9	-85.8	-84.8	-82.7	2.1
木材・木製品	-20.0	-32.5	-38.0	-45.1	-42.4	-51.3	-70.1	-76.8	-79.6	-73.9	-73.5	-71.0	-67.0	4.0
紙・紙加工品	-9.5	-20.9	-39.1	-29.2	-43.5	-58.3	-59.1	-70.8	-74.0	-75.0	-84.2	-86.4	-68.2	18.2
印刷	-30.6	-40.3	-41.9	-42.7	-47.6	-50.0	-75.0	-90.2	-93.6	-93.5	-94.9	-94.8	-91.5	3.3
化学・ゴム	-40.0	-44.9	-48.3	-42.8	-55.2	-58.6	-69.0	-69.0	-71.4	-63.4	-66.7	-71.4	-75.0	-3.6
窯業・土石製品	-19.9	-18.9	-24.1	-22.6	-23.9	-26.2	-38.2	-46.6	-47.4	-44.4	-46.5	-44.7	-34.6	10.1
鉄鋼・金属	-37.7	-38.9	-40.5	-43.5	-43.8	-54.3	-64.8	-81.9	-87.0	-83.7	-77.5	-78.6	-71.7	6.9
一般機器	-38.9	-42.8	-48.2	-52.7	-52.6	-61.4	-67.5	-75.2	-79.1	-80.9	-73.5	-77.0	-72.0	5.0
電気機器	-16.1	-34.5	-31.0	-21.4	-35.7	-46.4	-67.9	-66.7	-75.0	-71.4	-71.4	-61.5	-53.6	7.9
輸送機器	-29.2	-38.1	-42.9	-42.9	-46.3	-47.6	-66.7	-73.2	-81.0	-83.3	-81.6	-76.3	-60.5	15.8
その他の製造業	-19.7	-28.9	-44.4	-44.4	-49.0	-66.6	-64.1	-78.9	-82.4	-84.0	-70.0	-71.4	-70.0	1.4
非 製 造 業	-20.7	-33.1	-32.6	-30.7	-37.8	-49.3	-61.6	-71.8	-72.1	-65.1	-62.7	-60.2	-57.8	2.4
卸 売 業	-40.5	-47.9	-45.2	-43.2	-53.2	-63.7	-73.2	-81.7	-82.7	-78.1	-75.4	-73.8	-71.5	2.3
小 売 業	-22.1	-44.7	-48.4	-39.4	-47.3	-59.4	-73.0	-78.2	-73.4	-61.9	-62.4	-58.2	-57.9	0.3
商 店 街	-30.6	-47.2	-39.3	-37.5	-52.1	-64.8	-79.6	-86.2	-83.6	-76.4	-73.3	-74.3	-73.8	0.5
サ ー ビ ス 業	-13.1	-26.7	-23.6	-25.9	-31.6	-45.2	-57.8	-70.5	-74.2	-68.7	-63.9	-63.2	-57.4	5.8
建 設 業	-3.3	-4.6	-7.0	-6.2	-7.9	-14.8	-25.0	-42.3	-46.6	-39.0	-36.2	-32.7	-31.7	1.0
運 輸 業	-23.3	-32.5	-32.6	-39.1	-43.4	-57.0	-72.1	-82.2	-84.4	-83.2	-81.3	-81.0	-70.5	10.5
その他の非製造業	-3.7	-10.7	-13.8	-10.7	-13.8	-27.6	-30.0	-50.0	-50.0	-40.7	-33.3	-17.8	-30.8	-13.0

Pick up!

「繊維工業」：新型コロナウイルスの影響により、展示会等の開催が出来ず、先行きの見通しが難しいという声もあり、景況D I は前月比2.1ポイント改善しているが、水準は低調に推移。

「印刷」：GoToキャンペーンによる印刷需要が見込まれるものの、イベントの中止等の影響は大きく、回復の兆しは弱い。景況D I は前月比3.3ポイント改善しているが、水準は低調に推移。

2. 売 上 高

	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 59.8	▲ 61.2	▲ 1.4	悪化	↘
製造業	▲ 66.4	▲ 64.8	1.6	上昇	↗
非製造業	▲ 54.5	▲ 58.4	▲ 3.9	悪化	↘
DIが大きく上昇した業種	10ポイント超	紙・紙加工品、輸送機器			
	5～10ポイント	一般機器、その他の製造業			
DIが大きく悪化した業種	10ポイント超	小売業			
	5～10ポイント	繊維工業、卸売業、商店街			

表3. 業種別【売上高】DIの推移（前年同月比）

業 種 名	1/9	1/10	1/11	1/12	2/1	2/2	2/3	2/4	2/5	2/6	2/7	2/8	2/9	前月比
全 体	-13.2	-32.6	-31.6	-29.1	-36.8	-43.4	-58.5	-70.4	-73.5	-65.7	-62.2	-59.8	-61.2	-1.4
製 造 業	-17.1	-31.3	-33.9	-32.8	-38.5	-43.7	-56.7	-69.6	-76.9	-72.5	-68.5	-66.4	-64.8	1.6
食料品	-23.9	-23.5	-26.0	-21.0	-35.8	-47.7	-67.6	-80.1	-81.4	-70.9	-62.9	-57.9	-59.2	-1.3
繊維工業	-27.0	-42.5	-53.9	-48.8	-58.7	-56.1	-75.0	-85.9	-86.6	-83.5	-84.0	-83.0	-88.8	-5.8
木材・木製品	-10.5	-44.8	-27.4	-38.1	-42.5	-39.0	-60.7	-75.9	-84.1	-73.0	-70.6	-67.3	-65.0	2.3
紙・紙加工品	0.0	-4.2	-26.1	-50.0	-21.8	-37.5	-45.4	-70.9	-65.2	-83.3	-68.4	-90.9	-77.3	13.6
印刷	3.2	-29.0	-40.3	-31.1	-34.4	-43.3	-71.6	-90.2	-88.7	-93.5	-94.9	-94.9	-94.9	0.0
化学・ゴム	-3.3	-34.5	-38.0	-35.7	-34.5	-41.4	-31.0	-31.0	-64.3	-53.3	-70.4	-60.8	-64.3	-3.5
窯業・土石製品	-5.9	-22.7	-24.1	-16.8	-18.7	-19.0	-40.4	-44.4	-54.0	-51.1	-52.0	-32.6	-33.8	-1.2
鉄鋼・金属	-25.3	-30.2	-38.3	-37.7	-40.2	-49.3	-58.3	-71.0	-84.1	-79.2	-74.4	-74.0	-76.3	-2.3
一般機器	-24.8	-36.4	-34.8	-42.0	-43.0	-49.1	-56.2	-70.6	-76.4	-73.1	-66.4	-75.2	-65.8	9.4
電気機器	-3.2	-24.1	-20.7	-14.3	-25.0	-32.1	-50.0	-37.1	-71.5	-67.9	-42.8	-50.0	-46.4	3.6
輸送機器	-29.3	-33.3	-45.2	-40.5	-29.2	-40.5	-47.6	-41.4	-57.2	-57.2	-50.0	-60.5	-26.3	34.2
その他の製造業	-19.6	-40.4	-42.6	-35.2	-54.9	-61.1	-58.5	-76.9	-80.4	-86.0	-66.0	-69.4	-60.0	9.4
非 製 造 業	-10.3	-33.9	-29.7	-26.3	-35.5	-43.2	-58.4	-71.0	-71.0	-60.4	-57.3	-54.5	-58.4	-3.9
卸 売 業	-24.4	-45.5	-39.6	-40.4	-53.7	-57.7	-65.3	-75.5	-70.2	-64.6	-66.7	-61.2	-69.1	-7.9
小 売 業	-9.7	-54.7	-45.7	-36.0	-47.9	-49.7	-69.8	-75.1	-70.1	-52.9	-48.8	-47.8	-58.5	-10.7
商 店 街	-10.0	-44.7	-41.1	-30.0	-43.6	-59.8	-78.4	-85.6	-85.5	-73.9	-74.6	-68.9	-74.5	-5.6
サ ー ビ ス 業	-2.5	-29.2	-19.4	-23.1	-22.3	-38.1	-60.0	-74.0	-78.5	-69.5	-64.9	-63.6	-60.8	2.8
建 設 業	-5.4	0.9	-8.3	-2.5	-7.5	-12.4	-16.9	-45.3	-47.0	-37.8	-34.5	-31.9	-31.3	0.6
運 輸 業	-18.6	-28.7	-26.4	-34.4	-48.8	-58.6	-71.3	-82.1	-85.2	-82.5	-76.4	-80.2	-75.4	4.8
その他の非製造業	11.1	3.6	3.5	21.5	-10.3	-6.9	-30.0	-39.3	-64.3	-40.8	-40.7	-25.0	-27.0	-2.0

Pick up!

「輸送機器」：自動車関連を中心に生産活動が戻りつつあるとの声も多数あり。売上高DIは前月比34.2ポイント改善。

「小売業」：GoToキャンペーン等により、人の動きが戻りつつあるものの、小売業全体の売上改善には時間を要する。売上高DIは前月比10.7ポイント悪化。

3. 収益状況

	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 60.5	▲ 58.7	1.8	上昇	↗
製造業	▲ 66.2	▲ 63.8	2.4	上昇	↗
非製造業	▲ 56.0	▲ 54.8	1.2	上昇	↗
DIが大きく上昇した業種	10ポイント超	電気機器			
	5～10ポイント	木材・木製品、鉄鋼・金属、輸送機器、運輸業、その他の非製造業			
DIが大きく悪化した業種	10ポイント超	なし			
	5～10ポイント	化学・ゴム			

表4. 業種別【収益状況】DIの推移（前年同月比）

業 種 名	1/9	1/10	1/11	1/12	2/1	2/2	2/3	2/4	2/5	2/6	2/7	2/8	2/9	前月比
全 体	-19.7	-32.6	-32.1	-28.3	-36.0	-42.8	-57.0	-66.8	-70.5	-64.6	-63.2	-60.5	-58.7	1.8
製 造 業	-24.5	-31.1	-35.6	-31.0	-37.1	-41.4	-56.5	-65.6	-73.2	-70.3	-66.8	-66.2	-63.8	2.4
食料品	-31.8	-27.5	-35.0	-24.0	-34.8	-41.8	-66.7	-73.6	-80.4	-71.3	-62.9	-58.9	-57.1	1.8
繊維工業	-40.4	-42.5	-50.8	-45.7	-48.4	-50.0	-68.6	-83.3	-90.8	-83.4	-84.1	-83.9	-81.9	2.0
木材・木製品	-16.5	-31.6	-38.1	-34.5	-39.8	-46.0	-60.7	-69.6	-72.5	-73.9	-66.7	-66.4	-61.1	5.3
紙・紙加工品	-4.8	-8.4	-26.1	-25.0	-43.5	-41.6	-59.1	-66.7	-69.6	-79.1	-78.9	-90.9	-86.4	4.5
印刷	-25.8	-45.2	-40.4	-31.1	-41.0	-41.7	-66.7	-86.9	-91.9	-88.6	-93.2	-93.1	-93.2	-0.1
化学・ゴム	-36.7	-41.4	-48.3	-21.5	-34.5	-44.8	-51.8	-55.2	-64.3	-63.3	-66.7	-64.3	-71.5	-7.2
窯業・土石製品	-15.4	-17.5	-17.5	-16.1	-21.6	-19.8	-31.6	-33.9	-45.3	-38.5	-43.4	-37.2	-33.9	3.3
鉄鋼・金属	-24.6	-28.8	-36.2	-32.6	-37.2	-43.6	-53.3	-63.7	-73.2	-75.6	-73.6	-75.6	-68.0	7.6
一般機器	-21.3	-30.0	-35.7	-40.2	-45.6	-46.5	-55.3	-65.2	-70.9	-70.4	-63.7	-68.1	-69.3	-1.2
電気機器	0.0	-27.6	-10.4	-17.9	-7.1	-35.7	-46.5	-44.5	-67.9	-60.8	-53.6	-57.7	-46.4	11.3
輸送機器	-43.9	-50.0	-50.0	-47.6	-46.3	-40.4	-52.3	-58.5	-64.3	-69.0	-65.8	-65.8	-57.9	7.9
その他の製造業	-7.1	-34.6	-33.3	-31.5	-37.2	-50.0	-55.6	-69.3	-76.4	-80.0	-52.0	-53.0	-54.0	-1.0
非 製 造 業	-15.9	-33.7	-29.6	-26.3	-35.1	-43.9	-57.3	-67.6	-68.6	-60.4	-60.3	-56.0	-54.8	1.2
卸 売 業	-32.8	-40.8	-39.6	-39.1	-47.6	-48.3	-63.0	-72.6	-73.0	-65.0	-70.1	-65.0	-62.3	2.7
小 売 業	-17.5	-46.2	-43.4	-40.4	-47.3	-57.9	-66.4	-73.7	-71.0	-58.9	-59.4	-52.6	-57.3	-4.7
商 店 街	-20.6	-42.8	-37.4	-28.1	-43.6	-58.6	-77.2	-83.0	-83.6	-73.3	-70.7	-70.2	-69.6	0.6
サ ー ビ ス 業	-6.1	-33.5	-18.8	-17.4	-25.9	-41.6	-59.6	-70.1	-73.1	-65.1	-63.1	-59.9	-55.1	4.8
建 設 業	-5.3	-10.0	-11.1	-4.6	-12.1	-12.8	-22.4	-38.9	-42.1	-33.6	-35.9	-32.8	-29.5	3.3
運 輸 業	-21.7	-29.5	-27.1	-31.2	-40.3	-50.7	-62.8	-76.7	-80.5	-81.7	-77.3	-74.3	-68.8	5.5
その他の非製造業	-3.7	-3.6	-17.2	0.0	-10.4	-17.3	-36.6	-42.9	-46.4	-48.2	-48.1	-35.8	-30.8	5.0

Pick up!

「化学・ゴム」：自動車関連製品等は一部回復傾向も見られるが、業界全般としてはまだまだ落ち込んでいる。収益状況DIは前月比7.2ポイント悪化。

「一般機器」：設備計画の延期や見直し、少ない需要への低価格競争が激しくなっている。収益状況DIは前月比1.2ポイント悪化し、低調に推移。

4. 資金繰り、販売価格、取引条件、設備操業度、雇用人員、在庫数量

(1) 資金繰り	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 41.4	▲ 38.5	2.9	上昇	↗
製造業	▲ 44.5	▲ 41.2	3.3	上昇	↗
非製造業	▲ 39.1	▲ 36.5	2.6	上昇	↗
(2) 販売価格	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 14.6	▲ 13.8	0.8	上昇	↗
製造業	▲ 15.6	▲ 14.2	1.4	上昇	↗
非製造業	▲ 13.8	▲ 13.5	0.3	上昇	↗
(3) 取引条件	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 21.2	▲ 20.0	1.2	上昇	↗
製造業	▲ 19.8	▲ 18.8	1.0	上昇	↗
非製造業	▲ 22.4	▲ 20.8	1.6	上昇	↗
(4) 設備操業度	前月	当月	増減	傾向	
製造業	▲ 55.0	▲ 51.9	3.1	上昇	↗
(5) 雇用人員	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 20.0	▲ 20.1	▲ 0.1	悪化	↘
製造業	▲ 19.8	▲ 21.7	▲ 1.9	悪化	↘
非製造業	▲ 20.2	▲ 18.7	1.5	上昇	↗
(6) 在庫数量	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 16.4	▲ 15.3	1.1	上昇	↗
製造業	▲ 11.2	▲ 9.6	1.6	上昇	↗
非製造業	▲ 24.0	▲ 24.0	▲ 0.0	悪化	↘

Calendar 2020

～～ 国内外の主なトピックス（令和2年10月）～～

10月 1日（木）

9月の日銀短観：日本銀行。9月の日銀短観は大企業製造業のDIは▲27と6月調査比7ポイント改善。同非製造業は▲12。中小製造業は▲44、同非製造業は▲22。

10月 2日（金）

8月の有効求人倍率・完全失業率：厚労省。8月の有効求人倍率は1.04倍で前月比0.04ポイント低下。完全失業率は3.0%と前月比0.1ポイント上昇。

10月 7日（水）

8月の景気動向指数：内閣府。「下げ止まり」となり、13か月ぶりに「悪化」を脱した。

10月 8日（木）

9月の景気ウォッチャー調査：内閣府。街角景気の現状判断指数は前月から5.4ポイント高い49.3となった。基調判断を5か月連続で上方修正。

10月 12日（月）

9月の工作機械受注額：日本機械工作工業会。速報値は前年同月比15%減の841億円で、減少率が3ヶ月連続で小さくなった。

10月 23日（金）

9月の月例経済報告発表予定。

表5. 主要指標の業種別 D I(前年同月比)

(令和2年9月末現在)

	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	設備操業度	雇用人員	在庫数量
全 体	-61.7	-61.2	-58.7	-13.8	-20.0	-38.5	-51.9	-20.1	-15.3
製 造 業	-66.5	-64.8	-63.8	-14.2	-18.8	-41.2	-51.9	-21.7	-9.6
非 製 造 業	-57.8	-58.4	-54.8	-13.5	-20.8	-36.5		-18.7	-24.0

(製 造 業)

業 種 名	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	設備操業度	雇用人員	在庫数量
食 料 品	-60.2	-59.2	-57.1	-4.2	-17.3	-41.8	-42.4	-23.1	-5.3
繊 維 工 業	-82.7	-88.8	-81.9	-31.0	-43.1	-66.3	-73.3	-33.6	-6.9
木 材 ・ 木 製 品	-67.0	-65.0	-61.1	-27.2	-19.4	-36.0	-42.7	-22.3	-2.9
紙 ・ 紙 加 工 品	-68.2	-77.3	-86.4	-18.2	-18.2	-50.0	-72.7	-13.7	0.0
印 刷	-91.5	-94.9	-93.2	-27.1	-25.4	-55.9	-81.4	-30.5	-20.3
化 学 ・ ゴ ム	-75.0	-64.3	-71.5	-14.3	-7.2	-39.3	-57.2	-14.3	14.2
窯業・土石製品	-34.6	-33.8	-33.9	12.3	-4.7	-16.9	-23.8	-11.5	-6.2
鉄 鋼 ・ 金 属	-71.7	-76.3	-68.0	-20.6	-12.2	-41.2	-57.2	-21.3	-9.9
一 般 機 器	-72.0	-65.8	-69.3	-15.8	-16.7	-40.4	-57.0	-17.5	-11.4
電 気 機 器	-53.6	-46.4	-46.4	-25.0	-3.5	-32.2	-50.0	-21.4	-17.9
輸 送 機 器	-60.5	-26.3	-57.9	-23.7	-28.9	-31.6	-39.5	-15.8	-23.6
その他の製造業	-70.0	-60.0	-54.0	-12.0	-26.0	-46.0	-46.0	-20.0	-20.0

(非 製 造 業)

業 種 名	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	設備操業度	雇用人員	在庫数量
卸 売 業	-71.5	-69.1	-62.3	-12.8	-24.6	-37.7		-15.2	-14.2
小 売 業	-57.9	-58.5	-57.3	-10.0	-21.5	-35.5		-17.3	-20.9
商 店 街	-73.8	-74.5	-69.6	-27.6	-26.9	-57.9		-34.5	-33.8
サ ー ビ ス 業	-57.4	-60.8	-55.1	-10.7	-24.8	-38.8		-20.5	
建 設 業	-31.7	-31.3	-29.5	-8.0	-12.5	-15.2		-9.8	
運 輸 業	-70.5	-75.4	-68.8	-14.8	-17.3	-45.1		-26.2	
	-30.8	-27.0	-30.8	-3.8	-3.8	-23.1		3.8	

表6. 主要指標の業種別景況調査総括表(前年同月比)

(令和 2年 9 末現在)
(単位: %)

業 種	業界の景況			売上高			収益状況			販売価格			取引条件			資金繰り			設備稼働度			雇用人員			在庫数量		
	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	増加	不変	減少
全 体	2.6	33.1	64.3	7.9	22.9	69.1	4.3	32.7	63.0	6.3	73.7	20.1	1.2	77.6	21.2	2.1	57.3	40.6	3.6	40.9	55.5	2.4	75.1	22.5	12.1	60.5	27.4
製 造 業	2.6	28.3	69.1	8.0	19.2	72.8	4.5	27.1	68.3	3.6	78.6	17.8	0.8	79.6	19.6	2.8	53.2	44.0	3.6	40.9	55.5	2.7	73.0	24.4	14.7	61.0	24.3
非 製 造 業	2.7	36.8	60.5	7.9	25.8	66.3	4.1	37.0	58.9	8.3	69.8	21.8	1.6	76.0	22.4	1.5	60.5	38.0	0.0	0.0	0.0	2.3	76.7	21.0	8.1	59.8	32.1

(製造業)

業 種	業界の景況			売上高			収益状況			販売価格			取引条件			資金繰り			設備稼働度			雇用人員			在庫数量		
	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	増加	不変	減少
食 料 品	1.6	36.6	61.8	7.3	26.2	66.5	6.3	30.4	63.4	3.7	88.5	7.9	1.0	80.6	18.3	3.7	50.8	45.5	4.7	48.2	47.1	2.6	71.7	25.7	18.3	58.1	23.6
繊 維 工 業	0.9	15.5	83.6	0.0	11.2	88.8	0.0	18.1	81.9	0.9	67.2	31.9	0.0	56.9	43.1	0.9	31.9	67.2	0.0	26.7	73.3	0.9	64.7	34.5	22.4	48.3	29.3
木 材 ・ 木 製 品	1.0	31.1	68.0	6.8	21.4	71.8	3.9	31.1	65.0	1.9	68.9	29.1	1.0	78.6	20.4	1.9	60.2	37.9	1.0	55.3	43.7	1.0	75.7	23.3	24.3	48.5	27.2
紙 ・ 紙 加 工 品	4.5	22.7	72.7	9.1	4.5	86.4	0.0	13.6	86.4	0.0	81.8	18.2	0.0	81.8	18.2	4.5	40.9	54.5	0.0	27.3	72.7	4.5	77.3	18.2	18.2	63.6	18.2
印 刷	0.0	8.5	91.5	0.0	5.1	94.9	0.0	6.8	93.2	0.0	72.9	27.1	0.0	74.6	25.4	1.7	40.7	57.6	0.0	18.6	81.4	0.0	69.5	30.5	3.4	72.9	23.7
化 学 ・ ゴ ム	0.0	25.0	75.0	10.7	14.3	75.0	7.1	14.3	78.6	0.0	85.7	14.3	7.1	78.6	14.3	0.0	60.7	39.3	7.1	28.6	64.3	10.7	64.3	25.0	32.1	50.0	17.9
窯業・土石製品	9.2	46.9	43.8	23.1	20.0	56.9	12.3	41.5	46.2	15.4	81.5	3.1	1.5	92.3	6.2	4.6	73.8	21.5	10.0	56.2	33.8	2.3	83.8	13.8	10.0	73.8	16.2
鉄 鋼 ・ 金 属	0.8	26.7	72.5	3.1	17.6	79.4	1.5	29.0	69.5	0.8	77.9	21.4	0.8	86.3	13.0	0.8	57.3	42.0	2.3	38.2	59.5	3.1	72.5	24.4	14.5	61.1	24.4
一 般 機 器	2.6	22.8	74.6	7.0	20.2	72.8	1.8	27.2	71.1	0.9	82.5	16.7	0.0	83.3	16.7	2.6	54.4	43.0	5.3	32.5	62.3	5.3	71.9	22.8	8.8	71.1	20.2
電 気 機 器	0.0	46.4	53.6	10.7	32.1	57.1	10.7	32.1	57.1	3.6	67.9	28.6	3.6	89.3	7.1	10.7	46.4	42.9	3.6	42.9	53.6	3.6	71.4	25.0	10.7	60.7	28.6
輸 送 機 器	7.9	23.7	68.4	21.1	31.6	47.4	5.3	31.6	63.2	2.6	71.1	26.3	0.0	71.1	28.9	2.6	63.2	34.2	7.9	44.7	47.4	5.3	73.7	21.1	5.3	65.8	28.9
その他の製造業	0.0	30.0	70.0	8.0	24.0	68.0	6.0	34.0	60.0	4.0	80.0	16.0	0.0	74.0	26.0	2.0	50.0	48.0	0.0	54.0	46.0	0.0	80.0	20.0	8.0	64.0	28.0

(非製造業)

業 種	業界の景況			売上高			収益状況			販売価格			取引条件			資金繰り			設備稼働度			雇用人員			在庫数量		
	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	増加	不変	減少
卸 売 業	2.5	23.5	74.0	5.9	19.1	75.0	4.4	28.9	66.7	9.3	68.6	22.1	2.9	69.6	27.5	2.5	57.4	40.2				1.5	81.9	16.7	11.8	62.3	26.0
小 売 業	3.3	35.5	61.2	10.3	20.9	68.8	4.8	33.0	62.1	15.2	59.7	25.2	2.4	73.6	23.9	2.4	59.7	37.9				3.0	76.7	20.3	7.3	64.5	28.2
商 店 街	2.1	22.1	75.9	3.4	18.6	77.9	2.8	24.8	72.4	2.1	68.3	29.7	0.7	71.7	27.6	0.7	40.7	58.6				0.0	65.5	34.5	6.2	53.8	40.0
サ ー ビ ス 業	1.9	35.8	59.3	6.1	27.0	66.9	3.8	37.3	58.9	7.6	74.1	18.3	1.1	73.0	25.9	1.5	58.2	40.3				2.7	74.1	23.2			
建 設 業	3.1	62.1	34.8	11.6	45.5	42.9	4.9	60.7	34.4	5.8	80.4	13.8	0.4	86.6	12.9	1.3	82.1	16.5				3.6	83.0	13.4			
運 輸 業	3.3	23.0	73.8	5.7	13.1	81.1	2.5	26.2	71.3	5.7	73.8	20.5	1.6	79.5	18.9	0.0	54.9	45.1				0.8	72.1	27.0			
その他の非製造業	0.0	69.2	30.8	11.5	50.0	38.5	0.0	69.2	30.8	7.7	80.8	11.5	0.0	96.2	3.8	0.0	76.9	23.1				3.8	96.2	0.0			

表7. 全国及び各地域別の【業界の景況・売上高・収益状況】(前年同月比)

令和 2年 9 末現在)

〔全 国〕

項 目	業界の景況			売上高			収益状況		
	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
業 種									
全 体	2.6	33.1	64.3	7.9	22.9	69.1	4.3	32.7	63.0
製造業	2.6	28.3	69.1	8.0	19.2	72.8	4.5	27.1	68.3
非製造業	2.7	36.8	60.5	7.9	25.8	66.3	4.1	37.0	58.9

〔近畿地方〕

項 目	業界の景況			売上高			収益状況		
	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	DI	好転	悪化
業 種									
全 体	2.2	29.0	68.8	7.4	21.9	70.6	-63.2	2.6	29.0
製造業	2.3	23.8	73.8	10.8	16.9	72.3	-61.5	3.1	22.3
非製造業	2.2	33.8	64.0	4.3	26.6	69.1	-64.8	2.2	35.3

滋賀県、京都府、奈良県、大阪府、兵庫県、和歌山県

〔北海道・東北地方〕

北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

項 目	業界の景況			売上高			収益状況		
	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	DI	好転	悪化
業 種									
全 体	2.8	36.8	60.4	9.3	25.9	64.8	-55.5	5.6	38.6
製造業	1.6	33.9	64.5	12.1	25.0	62.9	-50.8	7.3	36.3
非製造業	3.6	38.6	57.9	7.6	26.4	66.0	-58.4	4.6	40.1

鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

項 目	業界の景況			売上高			収益状況		
	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	DI	好転	悪化
業 種									
全 体	1.6	32.5	65.8	7.8	19.8	72.4	-64.6	2.5	32.5
製造業	1.8	30.1	68.1	2.7	17.7	79.6	-76.9	0.9	27.4
非製造業	1.5	34.6	63.8	12.3	21.5	66.2	-53.9	3.8	36.9

〔関東・甲信越地方〕

茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、長野県、山梨県

項 目	業界の景況			売上高			収益状況		
	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	DI	好転	悪化
業 種									
全 体	2.5	35.1	62.4	6.9	25.3	67.9	-61.0	5.1	32.6
製造業	3.7	33.6	62.7	8.6	23.1	68.3	-59.7	7.1	28.0
非製造業	1.6	36.2	62.2	5.6	26.8	67.6	-62.0	3.8	35.9

〔四国地方〕

徳島県、香川県、愛媛県、高知県

項 目	業界の景況			売上高			収益状況		
	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	DI	好転	悪化
業 種									
全 体	2.9	29.2	67.8	5.8	21.6	72.5	-66.7	3.5	28.7
製造業	2.7	22.7	74.7	4.0	18.7	77.3	-73.3	4.0	24.0
非製造業	3.1	34.4	62.5	7.3	24.0	68.8	-61.5	3.1	32.3

〔東海・北陸地方〕

静岡県、愛知県、岐阜県、三重県、富山県、石川県、福井県

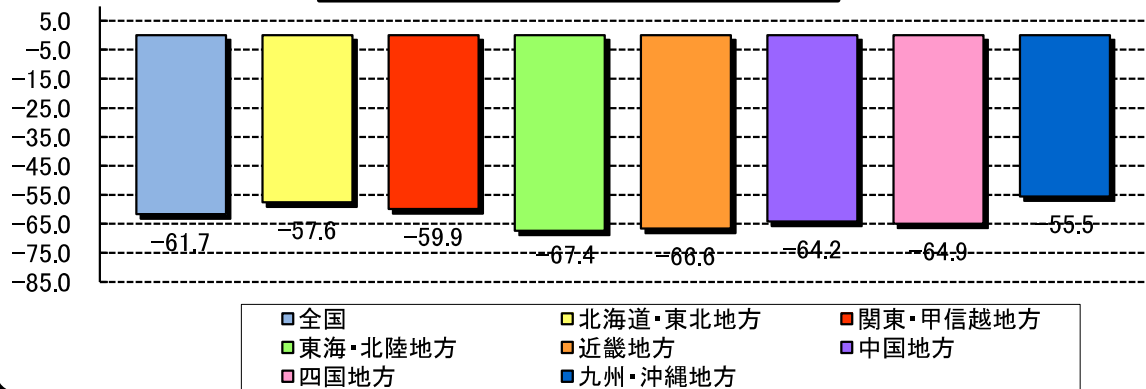
項 目	業界の景況			売上高			収益状況		
	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	DI	好転	悪化
業 種									
全 体	3.3	26.0	70.7	7.1	18.3	74.6	-67.5	3.6	28.0
製造業	3.0	17.3	79.7	6.6	11.7	81.7	-75.1	3.6	20.3
非製造業	3.6	34.7	61.7	7.7	25.0	67.3	-59.6	3.6	35.7

〔九州・沖縄地方〕

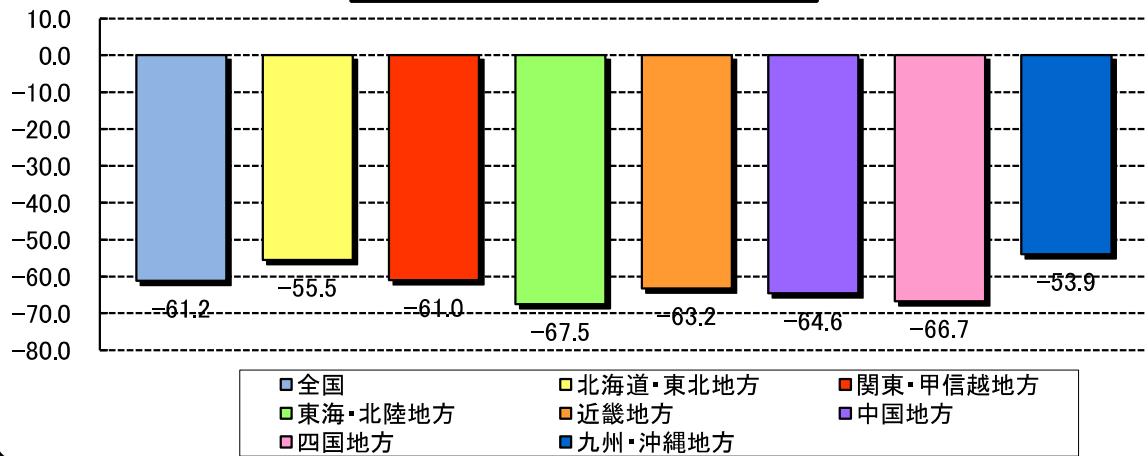
福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

項 目	業界の景況			売上高			収益状況		
	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	DI	好転	悪化
業 種									
全 体	2.7	39.1	58.2	10.7	24.7	64.6	-53.9	5.1	37.3
製造業	1.4	34.5	64.2	8.8	20.9	70.3	-61.5	3.4	32.4
非製造業	3.6	42.2	54.2	12.0	27.1	60.9	-48.9	6.2	40.4

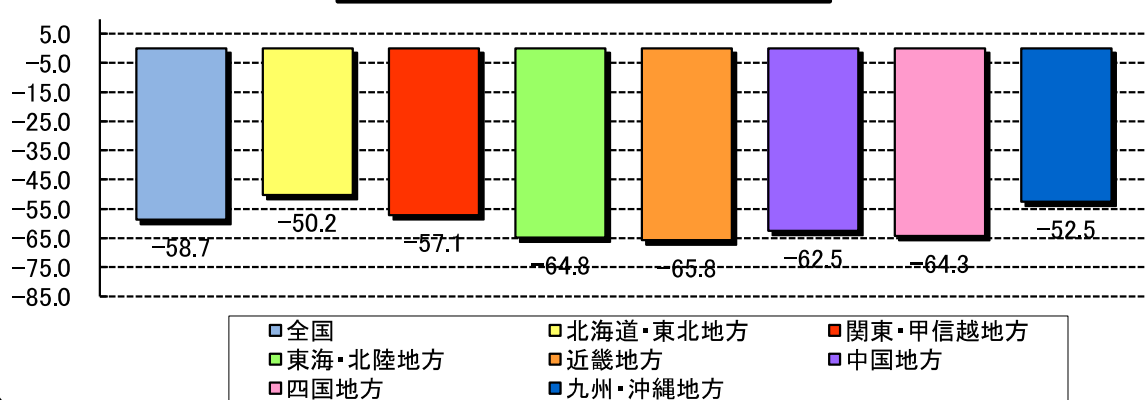
全国及び各地域別の【業界の景況DI(全体)】
(令和2年9月末現在・前年同月比)



全国及び各地域別の【売上高DI(全体)】
(令和2年9月末現在・前年同月比)



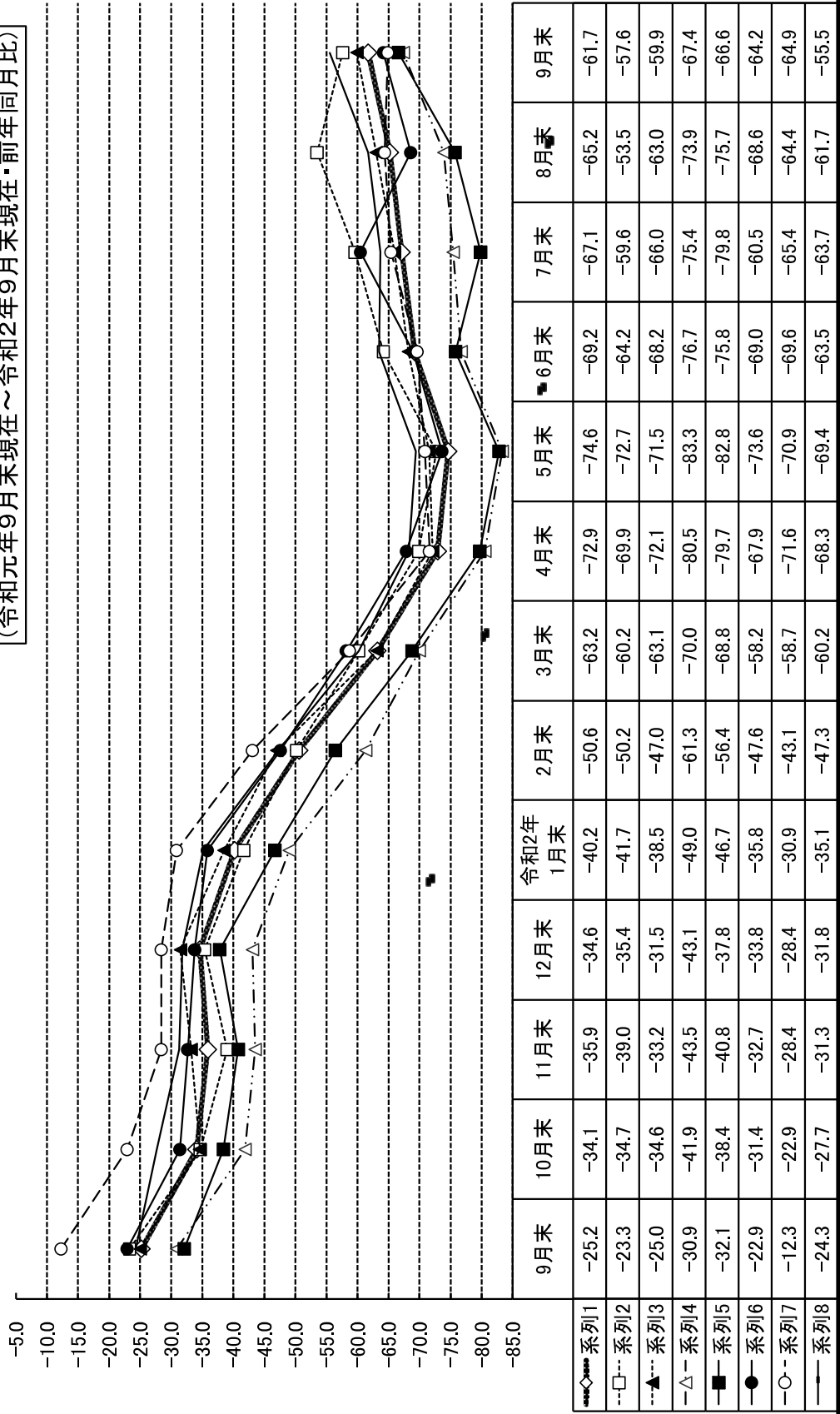
全国及び各地域別の【収益状況DI(全体)】
(令和2年9月末現在・前年同月比)



〔北海道・東北地方〕
〔関東・甲信越地方〕
〔東海・北陸地方〕
〔近畿地方〕
〔中国地方〕
〔四国地方〕
〔九州・沖縄地方〕

北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、長野県、山梨県
静岡県、愛知県、岐阜県、三重県、富山県、石川県、福井県
滋賀県、京都府、奈良県、大阪府、兵庫県、和歌山県
鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
徳島県、香川県、愛媛県、高知県
福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

全国及び各地域別の【業界の景況DI(全体)の推移】
(令和元年9月末現在～令和2年9月末現在・前年同月比)



[北海道・東北地方(系列2)] 北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
 [関東・甲信越地方(系列3)] 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、長野県、山梨県
 [東海・北陸地方(系列4)] 静岡県、愛知県、岐阜県、岐阜県、三重県、富山県、石川県、福井県
 [近畿地方(系列5)] 滋賀県、京都府、奈良県、大阪府、兵庫県、和歌山県
 [中国地方(系列6)] 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
 [四国地方(系列7)] 徳島県、香川県、愛媛県、高知県
 [九州・沖縄地方(系列8)] 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

※系列1は全国の数値です。

情報連絡員からの報告（要旨）

《製造業》

食料品製造業

1. <宮城県 製麺>
9月に入り、東京市場（スーパー等の流通販売ルート）はだいぶ通常に戻ってきた。土産店や業務店ルートはまだまだ厳しいが、回復基調にある。
2. <埼玉県 麺類製造業>
施設食堂（大学食堂など）やイベント関係は殆どなく、飲食店向け製品も未だに30%程度である。このため小規模事業者からは、廃業せざるを得ないとの声も上がっている。
3. <岐阜県 菓子>
新型コロナウイルスの影響により、景況感は依然悪いものの、9月の4連休以降、少し雰囲気が変わってきたように感じられる。行楽地には多くの人が見られるようになってきた。
4. <三重県 製麺>
10月よりGoToキャンペーンが始まり、明るい兆しが見えてきた。先日伊勢神宮にサン参詣して、少しずつだがお客様が増えてきた。
5. <香川県 冷凍食品>
日本冷凍食品協会による7月の冷凍食品生産数量は昨対98.5%となり、1月～7月の累計は100.8%となった。GoToトラベルの影響からかシルバーウィークは人が動き、荷動きも良かった。
6. <沖縄県 めん類製造業>
学校給食の復活や4連休でGoToトラベル事業の利用者が増えつつあり、売上が若干の回復傾向であったが、いまだに新型コロナウイルスの影響は続いており時短や一日ごとに製造を行う事業所もあり伸び悩んだ。

繊維・同製品製造業

7. <秋田県 繊維>
新型コロナウイルスによる販売不振の影響で受注が大幅に落ち込んでいることに加え、2021年春夏物の見通しが立っていない状況である。
8. <茨城県 袋物>
まだまだ新型コロナウイルスの影響は大きい、少し回復の兆しが見えた。新政権になり今後期待したい。
9. <栃木県 縫製業>
秋物の売行が悪く追加もなく生産ロットも少なくなり、先行きが見えない。今までアパレルの生産数が多かったので、適量生産の傾向が強く益々厳しい状況である。
10. <東京都 ニット製品製造業>
厳しい状況が続いている。秋物の受注残もなくなり、春物のサンプル依頼も減少している。業態変更や販路開拓という声も聞かれるが、一社では対応できない。
11. <愛知県 毛織物>
例年なら閑散期に入ったが、今年は繁忙期もなかったため引き続き仕事がない状態が続いている。持続化給付金を受けてしのいでいる状態である。
12. <和歌山県 毛皮製衣服・身用品製造>
9月の売上高が前年同月と比べて約半分ほどに低下した。秋冬物の発注予定が遅れ、個々の注文単位が小さくなっている。各種イベントや祭りが中止となり、人や物の動きが停滞している影響が出ている。

木材・木製品製造業

13. <北海道 一般製材>
9月の生産実績は前年同月比94%。8月後半から受注はやや回復してきているが、このまま回復傾向が続く雰囲気ではない。
14. <福島県 外材輸入業>
新型コロナウイルスの影響により低迷していたが、徐々に回復してきている。米加材は米国住宅が好調で価格が高騰してきている。北欧材の入荷は安定しているが、先高になる見通し。
15. <埼玉県 木材・木製品製造業>
9月は雨がが多く、原木入荷が少ない。出ても虫入りや古材だったり、どう調整するか苦慮している。プレカットは、11月頃まで受注が集中しており忙しいが、もう少し平均して出てくると良い。
16. <岐阜県 銘木>
売上高、収益状況等が好転。新型コロナウイルス感染症関連の支援金・給付金等の制度を上手く活用し、工事等を再稼働できたことが、好転した理由であると考えられる。
17. <和歌山県 家具製造業>

売上高の減少について、回復の兆しがない。コロナ禍による設備投資の削減や住宅工事関連では、人の出入りを敬遠している企業が多いように思うように需要が伸びていない。

18. < 宮 崎 県 製材業 >

9月の木製材業界は、反発を見せていた価格が落ち着き、横這い基調となった。出材量の方は残暑に加え、台風の影響等で例年に比べ大きく減少した。

紙・紙加工品製造業

19. < 群 馬 県 紙製容器製造業 >

冠婚葬祭に絡む業種、北米・欧州への輸出関連など回復しているところもあり、受注環境は改善されつつあるが、売上は前年に遠く及ばない。

20. < 東 京 都 紙製品製造業 >

需要の低迷により、紙製品の一部に価格の値下げ競争がみられる。国勢調査封筒のスポット需要を受注できたことで、一息ついた企業が多い。

21. < 岐 阜 県 紙加工品 >

新型コロナウイルス感染症の影響による個人消費の低迷により、受注が前年より30%以上落ち込んでいる組合員が多い。また、組合事業についても思うようにできないのが残念でならない。

22. < 愛 知 県 段ボール >

全体的には対前年比30%弱とまだまだ厳しいが、GoToトラベルに期待している。工業系は自動車を中心に回復傾向にある。特筆すべきはテイクアウト向けの伸びが大きい。

23. < 京 都 府 紙製容器製造業 >

GoToトラベルにより京都への観光客が増加したことで、お土産（特にお菓子）の準備が一斉にはじまり、当業界にも受注が入り始めたようだ。

24. < 愛 媛 県 機械すきと紙 >

コロナ禍により、業務用トイレ紙の需要は、低迷が続いている。一方、タオル紙の需要は、継続して好調である。

印刷

25. < 宮 城 県 印刷 >

営業活動再開により一時的売上減少から回復してきているが、前年同期比は依然減少傾向が続いている。事業継続そのものの見通しが立たない雇用調整助成金等の財源が確保できるかなど、不安材料がある。

26. < 神 奈 川 県 製本 >

前年同月比70%前後を推移している。GoToトラベルの開始による旅行関係の仕事や地域クーポンの仕事が多少見られるようになった。イベントの制限緩和やGoToEatによる経済の動き出しに期待している。

27. < 岐 阜 県 印刷 >

官公庁などの顕在化している仕事の獲得に向け、印刷業者同士の競争がコロナ禍以前より、一層激しくなっているように感じる。この厳しい状況はしばらく続く見通しである。

28. < 滋 賀 県 印刷・同関連業印刷 >

仕事そのものが減少しているが、補助金や助成金を利用して販路拡大のため印刷等の注文が増えてきている。ビジネスの形態も変わってきているので、以前とは違う方法や取り組みを考えなければならない。

29. < 山 口 県 印刷 >

中小企業支援も実施されているが、その内容はまだ不十分である。例えば、対象先は個人、法人の括りではなく、業種、売上規模を基準として金額規模に段階をつくるなどの支援スキームの構築を期待したい。

30. < 高 知 県 印刷業 >

官公需、県内民需は低迷だが、プレミアム商品券、GoToEat等の特需で下げ止まり感も見られる。全般に先月よりは若干改善傾向だが、前年対比は芳しくない。

化学・ゴム

31. < 長 野 県 プラスチック製品製造業 >

成型品および金型販売ともに昨年同期で売上は減少となったが、金型販売の落ち込みが依然大きな要因であった。新型コロナウイルスの影響が尾を引いており、業界によって回復の兆しに差がある。

32. < 愛 知 県 高圧ガス >

最大の出荷先である自動車関連ユーザーについては中国市場の回復により輸出は順調であるが、国内販売は減少傾向にあり地域間格差は拡大している。販売量、販売額ともに不調。

33. < 大 阪 府 石鹼洗剤製造業 >

新型コロナウイルス関連商品で手洗用液体石鹼、浴用固形石鹼、漂白剤、酸・アルカリ洗浄剤は、引き続き高い伸び率となっており、手洗いや除菌など清潔意識の高まりで引続き需要が伸びている。

34. < 島 根 県 プラスチック製品製造 >

受注状況は、回復の兆しが見え始めているが、前年同月比では未だ大幅にマイナスとなっている。新規引き合いは引き続き増加傾向にあり、プラス評価の要因となっている。

35. < 岡 山 県 ゴム >

前年同月と比較すると、ほぼ全ての項目で悪化しているものの、影響は最悪期を脱したと見ている。しかしながら、業界全体として新型コロナウイルス感染症以前に戻るのにはしばらくかかる見通し。

36. < 広島県 プラスチック製品製造業 >

自動車関連の売上、設備操業度は回復基調ではあるが、業界全体では未だ減少している。問題は、新型コロナウイルスの終息時期が見通せないことである。

窯業・土石製品製造業

37. < 北海道 窯業・土石製品製造業 >

一般住宅のガラス修理等の細かい仕事やハウスメーカーの新築物件への鋼製建具の納品等はあるが、それ以外の物件に関しては絶対数が少なく、見積依頼に対しても価格で取り合いになっている。

38. < 茨城県 焼物 >

依然として新型コロナウイルスの影響はあるが、9月に入り国の施策もあり人の流れが少しずつではあるが戻ってきている。特に、土日祝日が目立つ。

39. < 東京都 セメント製品製造業 >

公共事業は低調である。価格競争が続く、他県事業者の都内市場への流入が目立つ。

40. < 長野県 セメント同製品製造業 >

9月の出荷量が20,391㎡で前年比165%と災害工事等でこのところ充実に伸びてきている。10月後半か11月になり一斉工事が始まってくると、現在、各工場では備車を借りてはいるが足りなくなりそうである。

41. < 岐阜県 陶磁器（工業） >

業界は全体的に低迷している状態である。輸出は少し持ち直しているが、前年同月の水準までは回復していない。先が見えない中、雇用調整助成金の特例措置の再延長を望む声もある。

42. < 宮崎県 窯業・土石製品製造業 >

今後も大きな出荷増は望めず、出荷増よりしっかりした利益を取ることに集中して営業活動を続けていきたい。同時に生産設備の縮小も今後の大きな課題として検討していく。

鉄鋼・金属製造業

43. < 福島県 鉄工工業 >

同業者内でも仕事量に差が出始めている。昨年であればすぐ次の仕事にとりかかれていた。今年は次の仕事がないもしくはかなり先のため、期間が空いてしまうケースが多くみられる。

44. < 東京都 金属熱処理業 >

9月に入り、やや回復の兆しがあるものの、依然として先行きが不透明である。平常時までに回復するにはかなりの時間を要すると見込んでいる。

45. < 神奈川県 工業団地 >

売上高は前年▲10～20%推移。組合員によっては主要取引先から海外市場向け製品に受注回復の見込みや、自動車部品メーカーからの受注微増との声も聞かれるようになった。

46. < 京都府 金属加工製品製造業 >

9月度の景況は多くの企業で売上が減少したままである。ただ、一部の企業は試作の受注が戻りつつあるとか、他の企業は自動車関連部品の受注がやや戻りつつあるなど、若干の望みが出てきている。

47. < 徳島県 鉄鋼 >

設備操業度も回復傾向が見受けられ、生産活動は下げ止まりつつあり、今後のゆるやかな回復が期待される。なお、依然として景気の先行き不透明感は拭えず、今後の動向が懸念されるところである。

48. < 福岡県 鉄素形材製造業 >

持続化給付金のもう一段の延長・拡充をお願いしたい。中国関連が少し動き始めたが、米中問題の行方と、大統領選挙後まで予断を許さず、機械関係は中国頼みで左右される。

一般機器製造業

49. < 岩手県 一般機械器具製造業 >

見積もり案件は微増だが、同業他社との価格競争が激しく受注が厳しい。

50. < 栃木県 一般機械器具製造業 >

企業業績について若干の回復傾向がみられるものの、引き続き生産計画の見直し、設備投資計画の延期等の対応が強いられている。

51. < 富山県 非金属用金型製造業 >

回復傾向の兆候が強まりつつある一方、一部では一層の停滞ムードが漂い、動向の二極分化が顕著である。多くのメーカーで事業の見通しが開示されておらず、金型業界は先行き不透明な状況。

52. < 静岡県 生産用機械器具製造業 >

自動車部品業界の持ち直し機運から、機械設備業界への波及効果を期待するが、年度内の浮上には厳しいものがある。

53. < 愛知県 めっき >

売上については7割の企業が前年比減少であるが、前月比では5割以上の企業が増加に転じており、自動車関係は持ち直しの兆しが見えつつある。

54. < 三重県 一般機械器具製造業 >

緊急事態宣言が出ていた時期と比べると良くなってきた。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大は続いていて、回復ペースに乗らない。この水準が続くと思われる。

電気機器製造業

55. < 群馬県 民生用電気機械器具製造業 >

コロナ禍前に戻るにはまだ時間がかかるが、徐々に物流が戻りつつある。前月に引き続き、台風などの災害への備えとして自家発電機が好調。

56. < 長野県 電子機械器具製造業 >

工業団地内、自動車部品の製造が多く各企業によって回復度が違う。取引メーカーにより、企業間の差が9月に入り広がっていると感じており、計画休日でも一部企業では実施しており完全な回復傾向ではない。

57. < 静岡県 電気機械器具製造業 >

業務用空調機は学校空調需要の一巡などにより減少したが、一部の海外需要の回復もあり今後に期待している。

58. < 愛知県 配電盤 >

WEBを使っの物品の受け渡し、検査立ち合いを行う会員が出てきた。写真だけでは分からず、実物を見ないと見逃してしまう瑕疵もあるため、迅速性は認められようが問題点もあり会員間では賛否両論ある。

59. < 京都府 電機機械器具製造業 >

コロナ禍のなか事業活動を進める必要があり、市場開拓、商談等において面談の制限が課せられる場合があり、ITを利用した新しいビジネススタイルに対応すべきスキルを早急に構築しなければならない。

60. < 福岡県 電気機械器具製造業 >

未だコロナ禍にある状態ではあるが、徐々に雇用について動きが出てきた。併せて、特別技能外国人についても雇用を考え、受け入れることを決定された企業も増えてきた。

輸送用機器製造業

61. < 群馬県 自動車・同附属品製造業 >

取引メーカーによってバラツキはあるものの、地場メーカー関連においては前年並みの売上に戻りつつある。ただ、二次請、三次請の企業はそこまで回復していないところが散見される。

62. < 愛知県 輸送機器 >

新型コロナウイルスの影響で停滞していた経済活動は回復に向かっているとのマスコミ報道はあるが、当組合員の業況は悪化状態が続いている。年末に向かって収益状況等はさらに悪化する見通し。

63. < 島根県 自動車・同附属品製造業 >

9月の売上額は前期に比べ2%の減となり、自動車業界が徐々に回復し始め、新型コロナウイルスの影響が薄れてきた状況。但し、完全回復は当面見えていないのが実状。

64. < 三重県 輸送機器 >

某自動車メーカーでは作り込みで土曜日も稼働する一方で、某メーカーの部品を製造している設備は全く止まったままである。設備によって稼働の繁閑の差が大きく、人員配置のバランスに苦慮している。

65. < 愛媛県 造船 >

外国人労働者の新規入国は規制の緩和もあり検討している。再入国については隔離場所が決定した者に関しては入国を開始した。継続して消毒液の設置、マスクの配布等の感染対策を行っている。

66. < 大分県 造船 >

来年度分までの受注は確保できているが、新型コロナウイルスの影響で営業活動を縮小せざるを得ず、その後の先行きが不安である。

その他の製造業

67. < 青森県 漆器製造業 >

催事が屋内から屋外へと変化があり出店に影響がある。来場者が少ない。

68. < 東京都 靴製造業 >

コロナ禍の厳しい状況が続いている。秋物の受注残がなくなり、春物のサンプル依頼が減少している。アフターコロナを見据えて、業態変更や販路開拓といった声も聞かれるが、1社では対応しきれない。

69. < 石川県 漆器製造業 >

展示会など少し動きが出てきた感はあるが、まだまだ注文や仕事がない状況が続いている。10月以降も、売上が作れる展示会の開催になるか、不安要素が多い。

70. < 愛知県 節句人形 >

コロナ禍の中でも、年末から始まる来季の節句シーズンに向けて仕入の時期になってきた。全国各地より注文が来るものの、予想通り仕入は消極的な傾向で、例年よりかなり少ない。

71. < 和歌山県 なめし革・同製品・毛皮製造 >

景気動向は低調ではあるが、従前の水準には程遠いものの徐々に単発的に注文が出るようになってきた。様々な各種公的支援金を活用している。

72. < 香 川 県 綿寝具 >

9月は前年同月にはあった自衛隊からの受注がなく、3分の1の売上で雇用人員も休ませていた。10月納期の布団の資材も全く入って来ず、小売部門も販売不振であり、事業を継続していくのが困難である。

《非製造業》

卸売業

73. < 山 形 県 その他の各種商品卸売業 >

前年比ではマイナス基調が続いており、食料品のネット販売などは好調だが、繊維アパレル関係は回復の兆しが見えない。資金繰りについては、良化はしていないものの、落ち着いている。

74. < 千 葉 県 青果卸売 >

9月上旬までは、猛暑の影響により、青果物の単価が高めであったが、それ以降は値下がりがした。但し、果実は例年にくらべ、高値で推移しており、消費自体は低調であると見られる。

75. < 新 潟 県 花卉卸売業 >

切花は長雨、残暑の影響で作柄が悪かったが、9月に帰省し墓参りに行く人が多くみられ、スーパーでは仏花が品切れになり、高単価となった。

76. < 山 梨 県 ジュエリー製品卸売業 >

高額商品の多い宝石販売は、お客さんとの対面式での販売で、実際に来店して頂き、宝石を見てから購入を決めるため、オンライン販売で商品の販売は厳しい状況である。

77. < 熊 本 県 野菜卸売業 >

9月の超大型台風の影響が少なかったことは幸いだった。農作物にとって台風被害は長期に亘るため青果業界への影響は大きく、台風シーズンとなる今後の状況は油断できない。

78. < 鹿 児 島 県 水産物卸売業 >

前年同月比で、数量88.0%、販売金額が92.9%、販売単価が105.8%と厳しい状況となった。やはりコロナ禍による外食・観光業不振の影響が続いていると思われる。

小売業

79. < 山 形 県 電気機械器具小売業 >

昨年9月は消費税増税前の駆け込み需要と比較し、今年は業績不振の傾向にある。マイナポイント付与が始まったが、地域電気店としてもクレジットキャンペーン等を企画しキャッシュレス決済を推進している。

80. < 千 葉 県 小売 >

9月は、昨年の消費税増税の影響での駆け込み需要があったため売上減少となった。食品関連は少しずつ回復してきているが、飲食、衣料品、雑貨関連については日増しに厳しい状況が続いている。

81. < 山 梨 県 食肉小売業 >

前年同月比よりも売上は減少しているが、GoToトラベルキャンペーンの影響で観光地のホテル・旅館や飲食店が多少持ち直してきていることから、悪いながらも少しずつ売り上げは回復傾向にある。

82. < 奈 良 県 配置業 >

当業界は組合員の大半が高齢化し、営業日数の減少による売上減、新型コロナウイルスの影響を強く感じている。

83. < 長 崎 県 青果物 販売 >

政府の支援策で若干賑わいは戻ってきているが、飲食関係の納品業務がまだ程遠い。また、青果物の生育も日照不足の影響で入荷が少なく、全体的に単価高となり小売も非常に売りにくい状況になっている。

84. < 鹿 児 島 県 鮮魚小売業 >

台風や天候不良の影響で商品の種類が少なく、新物のサンマも痩せて値段が高く、ヒネ物の冷凍品を売らなければならない状況で売上も厳しい。

商店街

85. < 北 海 道 商店街 >

GoToトラベルや町独自の宿泊助成金の拡充により集客面で相乗効果が見られた。修学旅行の振り替え受け入れなども奏功し、8月に比べ9月は前年対比回復傾向にある。

86. < 山 形 県 商店街 >

GoToキャンペーン効果で回復の兆しが見え始めている業種（飲食店）もでてきたが、物販、サービス業は依然として厳しい状況が続いている。イベントが今後開催されればという期待を持っている。

87. < 富 山 県 商店街 >

百貨店の企画展は久しぶりに賑わいを見せ、それに合わせて、休祭日の商店街の人出が戻ってきた。トラジットモールの取り組みが、商店街への周遊に繋がり、通行量や駐車場の利用増加になった。

88. < 福 井 県 商店街 >

新型コロナウイルス拡大の影響により、依然として苦戦している状況である。商店街全体の売上が回復していない現状、固定資産税などの各種固定費の支払いに苦慮している。

89. < 長 崎 県 商店街 >

今年度発足した商店街女性会が女性目線と自由な発想で出店公募型の「市場」を催した。SNS等などで参加を募集し、手作りアクセサリや布マスク・雑貨・占いブースなど32店舗が並び、久しぶりに賑わった。

90. < 大 分 県 商店街 >

GoToキャンペーンの始まりもあり、商店街には人通りが戻ってきた。組合員の店舗にも少しづつ顧客が戻ってきたが、長引く不況の上にコロナ禍が重なり、体力の乏しい小規模の店舗はかなり苦戦している。

サービス業

91. < 宮 城 県 ホテル旅館 >

GoToトラベルキャンペーンによる利用者が多くなり、各宿泊施設の利用実績に反映している。しかし、ビジネスホテル系、宿泊単価が低い施設への波及効果はまだまだといったところである。

92. < 静 岡 県 宿泊業 >

GoToキャンペーンにより、宿泊単価は上昇しているがインバウンドが戻らないため、人数ベースでは減少している。景況感は少しずつ上向いているが、事業所によって格差があり、まだまだ厳しい状況である。

93. < 奈 良 県 旅館・ホテル >

GoToトラベルキャンペーン及び奈良県が展開する「いまなら。キャンペーン」により休前日はほぼ満室だが、平日は施設により偏りがある。修学旅行については、3/4がキャンセルになっている。

94. < 福 岡 県 リネンサプライ業 >

前年比75%ほどの売上である。地域によってばらつきがあるが、GoToキャンペーンなどのプラスの影響が少しあるものの、観光地などでは新型コロナウイルスの再拡大から、より悪化しているところもある。

95. < 宮 崎 県 観光業 >

新型コロナウイルスの影響で、貸切バスの需要は停滞したままである。GoToトラベルもスタートしたが、バスツアーの動きはいまだ厳しいようだ。

96. < 沖 縄 県 ホテル旅館業 >

那覇市内は、那覇とまえるクーポン事業の影響により一定の恩恵を受けた施設が多かった。GoToトラベル利用により一時的に稼働が高くなったが、9月全体の平均稼働率は3~4割程度と非常に厳しい。

建設業

97. < 埼 玉 県 鉄骨工事業 >

中・小型物件は延期や中止の話もあるが、比較的大型物件は計画的に発注されており、受注状況は二極化傾向にある。また、仕事もインターネットを活用したりリモートで行うなど行動変容が起きている。

98. < 山 梨 県 電気工事業 >

電気工事業の売上は人々の暮らしや建物がある限り仕事はなくなることはない。しかし、組合員は高齢化も進み、後継者・人材不足が今後の課題となっている。

99. < 山 口 県 左官業 >

工事量を確保している事業所においても、来春からの減少を懸念している。一方、施工能力のある事業所に対しては、暫く縁のなかった総合工事業者から再取引の打診が入り始めている。

100. < 徳 島 県 解体工事業 >

公共工事については、大規模、中規模の解体工事の発注もあり活況。民間戸建ての工事は、県内斑模様であるが工事発注についても例年並みの発注があり重機類の稼働率アップとなっている。

101. < 愛 媛 県 基礎工事 >

年内に建物が完成し引き渡す物件の着工があるため、若干の回復が見られたが、依然として全体の着工数は減少している。Withコロナの意識が定着したせいか、多少ではあるが回復の兆しは見受けられる。

102. < 佐 賀 県 鉄構業 >

現況、見積り件数が減少し、受注に影響が出ている。仕事量の減少により、受注単価の下落が見受けられる。単価を維持するため情報の共有を行うことが重要である。

運輸業

103. < 青 森 県 貨物軽自動車運送 >

組合員の売上は昨年同月より3割減に至っている。特に飛行機の減便により航空輸送関係の仕事が前年比10%以下でコロナ禍が落ち着き元に戻るには1年くらいかかると考えている。

104. < 栃 木 県 貨物軽自動車運送業 >

本来であれば9月決算のお客様からの受注で配車に追われる月であるが、8月と同じくらいの動きにとどまった。スポット、チャーターの依頼は鈍く、新規のお客様は無しである。

105. < 兵 庫 県 道路貨物運送業 >

コロナ禍において全国的に貨物量が減っている（宅配物、食料品関連は除く）状況で運賃の値崩れが止まらない。荷主側も相当に厳しい状況であるようだ。

106. < 鳥 取 県 貨物運送 >

梅雨の長雨、その後の猛暑の影響で県特産の二十世紀梨出荷量は激減した。製造業においても先月より出荷量は、関西圏を中心にやや持ち直しはしたものの微増に留まった。

107. < 広 島 県 道路貨物運送業 >

今月は、経済活動の再開と共に物流の動きも好転しつつある。コロナ禍で社会、経済の先行きが見通せない中、サプライチェーンの変革に対応できるよう、最適な物流業態のあり方に取り組んでいる。

108. < 鹿児島県 運輸・倉庫業 >

県内の農産物は台風や大雨の影響で少なく、上り荷物が無いため、下り荷物を載せる車両が少ない状況だった。新型コロナウイルスの影響で、求人では異業種からの面接が増加している。

その他の非製造業

109. < 神奈川県 歯科技工 >

収益状況が好転し、前期の減少分を取り戻さないと廃業も検討する事業者がある。具体的な支援策として「前年比50%減少」の受給要件が厳しく、「持続化給付金」が使えないとの声が多い。

110. < 富山県 不動産取引業 >

富山県の基準地価は、全用途平均で前年比0.4%減となり、28年連続で下落。新型コロナウイルスによる社会・経済状況の不安感により、回復傾向に歯止めがかかった。

111. < 兵庫県 物品賃貸業 >

病院や施設でのコロナ禍での動きは、少し落ち着いてきた。一方で、リース品から使い捨て品への切り替え、また逆に、使い捨て品の欠乏からリース品への切り替えなど、新しい形への模索が続いている。

112. < 広島県 不動産業 >

不動産市場においては、コロナ禍の影響による先行き不透明感から取引件数が減少している。賃貸物件についてはコロナ禍で控えていた人の移動が増えてきたためか、住宅物件の成約が増加傾向にある。

113. < 福岡県 貸金業、クレジットカード業者等貸金信用機関 >

コロナ禍を受けて国による小口資金の融資制度などの活用が進み足元の生活資金の目処が立っている現況があり、取引減少傾向が続いている。

114. < 鹿児島県 造園工事業 >

公共工事(道路草刈り、公園樹木剪定、花壇整備、河川草刈り等)の工期が短く、工期内終了に追われ多忙な状況である。売上高は多忙な分増加したが、造園業界は現場での人手が不足している。